

# Windows7&Vista 初期作業(インストール&初期設定) 2017/05

※上記以外の Windows をご利用の場合、CD 内のフォルダ「ユーザーズガイド」→フォルダ「初期作業」を開き、該当する Windows(PDF ファイル)を開き、印刷し、参照して下さい。

## ■対象ソフト

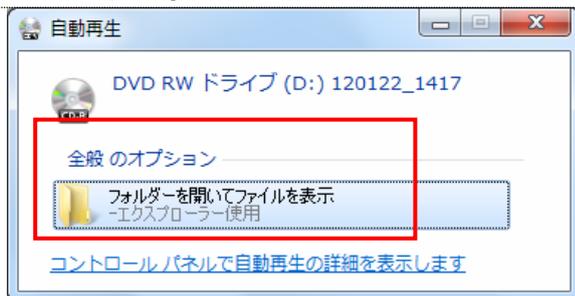
3点チャージAF系	スーパー3D系	超Speed系	FX-AF系
<b>Information</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●説明画面は「3点チャージAFスーパーTキット」を利用しています。フォルダ名(ファイル名)は、ご利用の分析ソフトに置き換えて参照します。</li><li>●説明画面は開発中のため、ファイル名やデザイン等が実際と異なることがあります。</li><li>●パソコンに管理者(Administrator)を設定している場合、管理者のアカウントでログインして下さい。</li></ul>			

## [1章] インストール

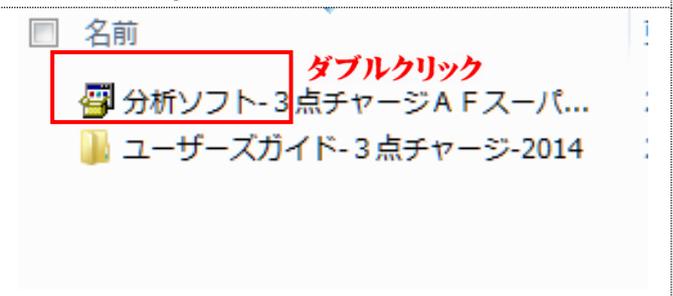
CDに収納されている分析ソフトを、パソコンのデスクトップにインストールします。また、2章の作業終了後、分析ソフトをマイドキュメントに移動します。

## ■作業手順/インストール ※画面は Windows7

① CDをパソコンにセットし、「自動再生」の画面が表示されたら、「全般のオプション」の「フォルダを開いてファイルを表示」をクリック。

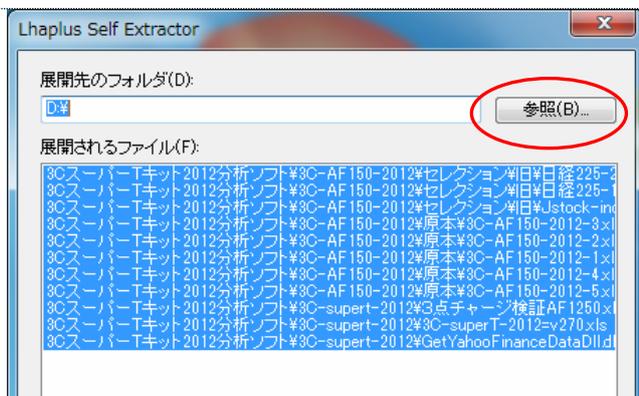


② 「現在ディスクにあるファイル」として、「分析ソフト」と「ユーザーズガイド」が表示されたら、「分析ソフト」のアイコンをダブルクリック。

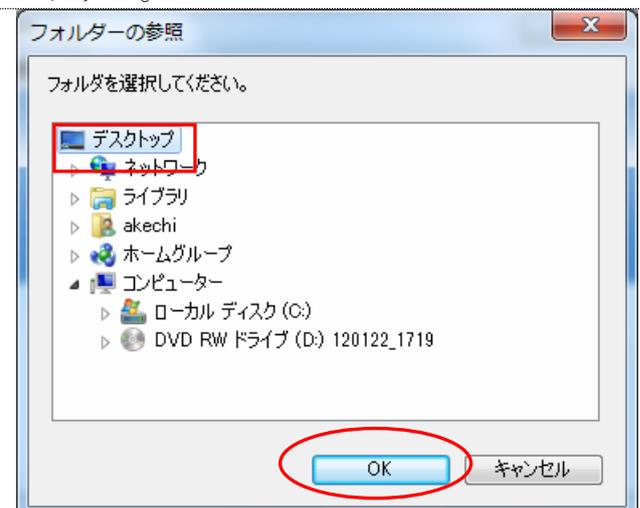


③ 「自動再生」の画面が表示されない場合は、P2の**サポート**を参照。

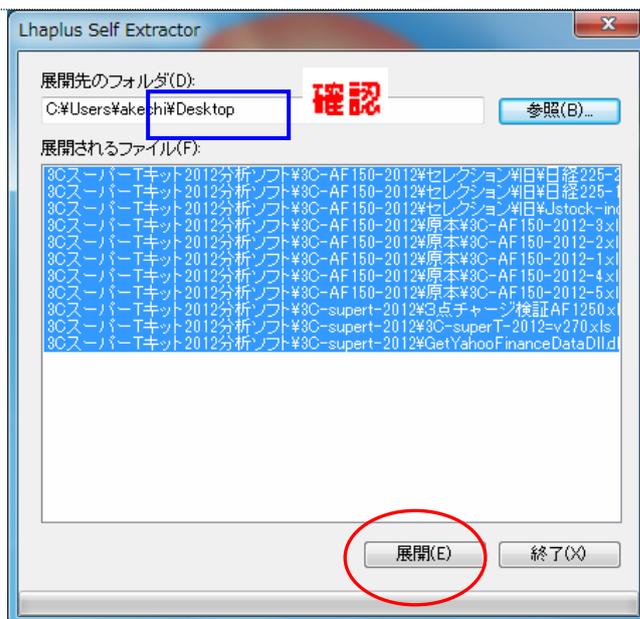
③ 展開先のフォルダ画面が表示されたら、ボタン「参照」をクリック。



④ 「フォルダの参照」で、メニューの「デスクトップ」をクリックし、ボタン「OK」をクリック。



⑤ 展開先のフォルダ欄に、「Desktop」が表示されたら、ボタン「展開」をクリック。



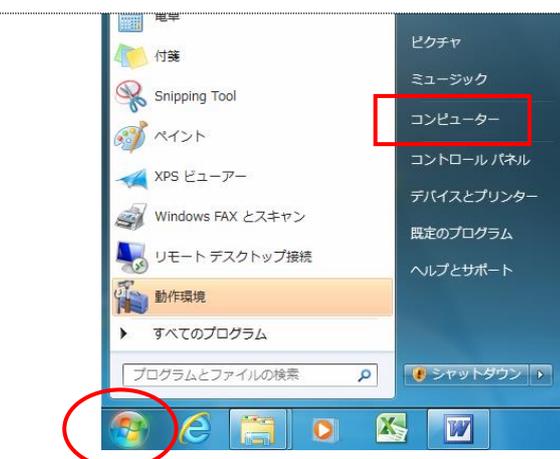
⑥ デスクトップに分析ソフトのアイコンが表示されたら、CD/DVD ドライブの画面を閉じ、パソコンから CD を取り出す



### ■サポート CD をパソコンにセットしても「自動再生」画面が表示されない

① デスクトップ画面左下のアイコン「スタート」をクリックし、メニューの「コンピューター」（マイコンピュータ）をクリック。

② リムーバブル記憶域があるデバイスで、CD をセットした CD/DVD のアイコンをダブルクリックすると、「現在ディスクにあるファイル」が表示される。→ P1 の②へ。



## [2章] DLL 「Get Stock Data.dll」の設定

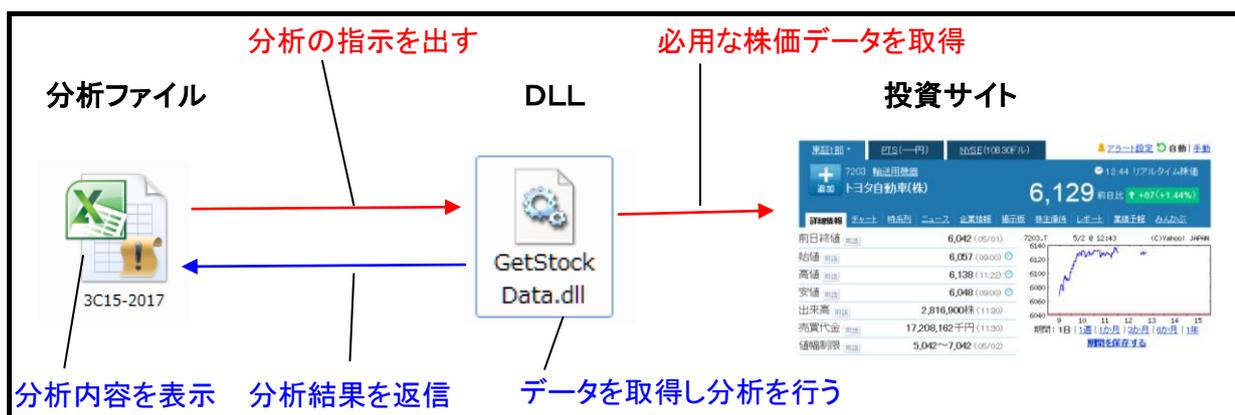
### (1) 分析ファイルとDLL

分析ソフトは分析ファイル（エクセル）とDLL 「Get Stock Data.dll」、2 個のファイルが連携して動作します。

#### ■2 個のファイルの動作の仕組み

- 1、分析ファイルの分析ボタンをクリックすると、DLL に作業の指示を発信します
- 2、DLL は作業の指示に従い、株価データを投資サイトから取得し、必要な分析を行い、その結果を分析ファイルに返信します
- 3、分析ファイルが分析結果をシートに表示します

■分析ファイルとDLLは2個で1セット



★重要なポイント★

1. DLL「Get Stock Data.dll」のダブルクリックは禁止

DLLはダブルクリックしても開きません。また、開く必要性も無いです。次項(2)DLL「Get Stock Data.dll」の設定で説明。

2. DLLは必ず「Cドライブ」(ローカルディスク(C:))のフォルダ「Windows」の中に設定する



DLLを指定以外の箇所に設定すると、分析ファイルは「ファイル(DLL)が見つからない」のエラーメッセージを表示し、動作しません。次項(3)エラーメッセージ「ファイルが見つからない」で説明。

3. DLLは1個設定すればOK

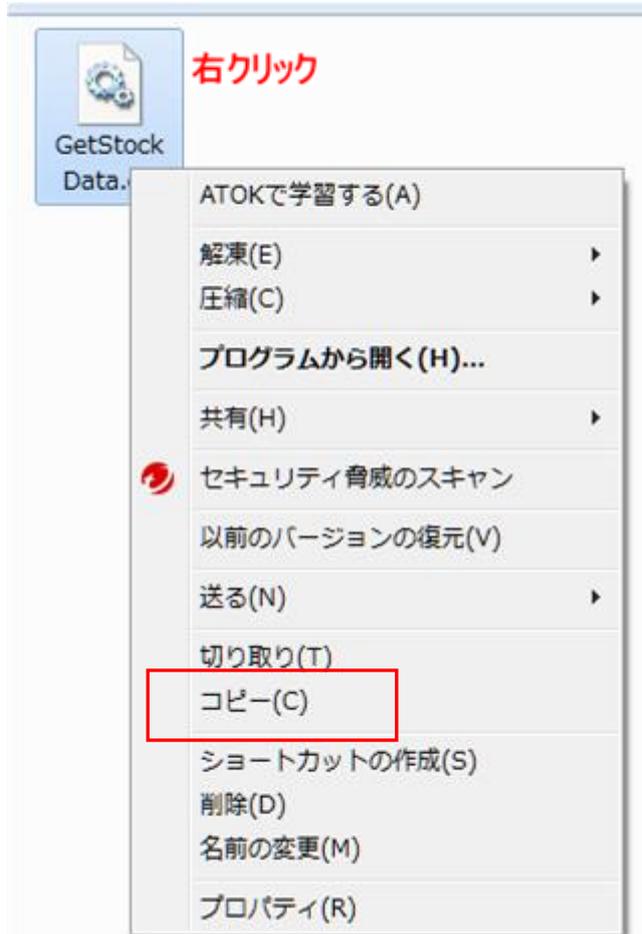
「3点チャージ投資法」「3Days投資法」「超スピード投資法」の分析ソフトのDLLは共通なので、DLLは1個設定で、全てが動作します。ただし、為替分析「FXツイン・チャージAF-S」は専用のDLLを使用します。

(2) DLL「Get Stock Data.dll」の設定 ※説明画面は Windows 7

<p>①デスクトップに保存した、分析ソフトのフォルダをダブルクリックして、開く。</p>	<p>②フォルダ「DLL」をダブルクリックして開く。</p>	<p>③DLL「Get Stock Data.dll」が表示</p>
<p>スーパーTキット</p>	<p>3点チャージAFスーパーTキット</p> <p>DLL</p>	<p>Get Stock Data.dll</p> <p>※為替分析のFX-AF-SのDLLは「GetStockWeatherFxDll.dll」</p>

④ D L L を右クリックし、メニューの「コピー」をクリック。

※ D L L をダブルクリックで開く必要性はない



⑤ パソコンの画面左下の「スタート」アイコンをクリック



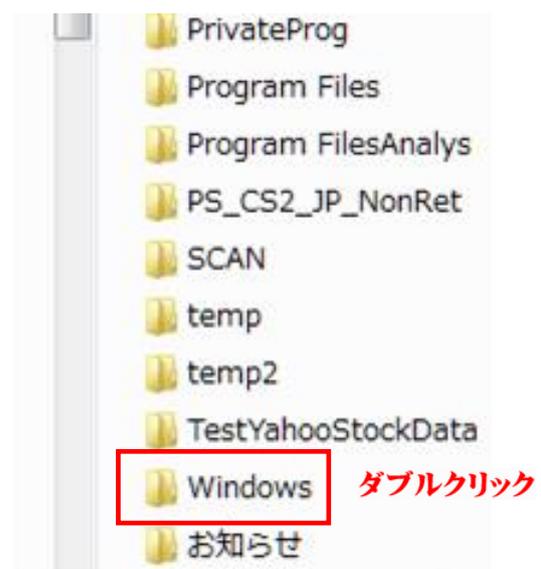
⑥ メニューの「コンピューター」をクリック



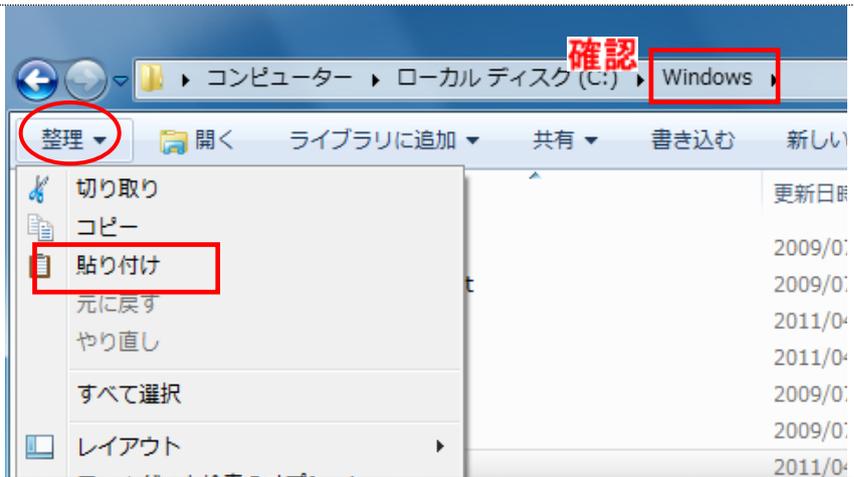
⑦ メニューの「ローカルディスク(C:)」をクリック。



⑧ ローカルディスク(C:)の中のフォルダ「Windows」をダブルクリック。

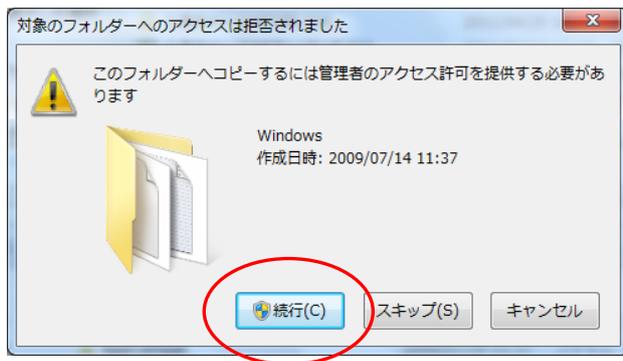


⑨ フォルダ「Windows」が開いていることを、アドレスバーで確認し、メニューバーの「整理」をクリックし、「貼り付け」をクリック。



(注) 同系のDLLが未設定の場合は⑨-Aの画面、設定済の場合は⑨-Bの画面が表示。

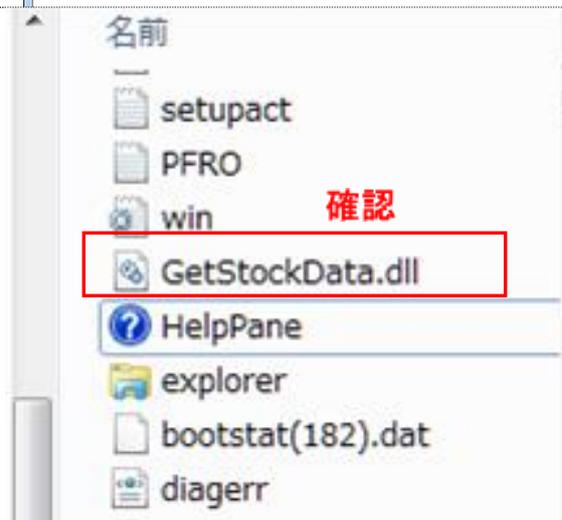
⑩-A 「・・・アクセスは拒否されました」のメッセージが表示されたら、ボタン「続行」をクリック。



⑩-B 「ファイルのコピー」画面が表示されたら、「コピーして置き換える」をクリック。続いて、⑨-Aの画面が表示されたら、ボタン「続行」をクリック。

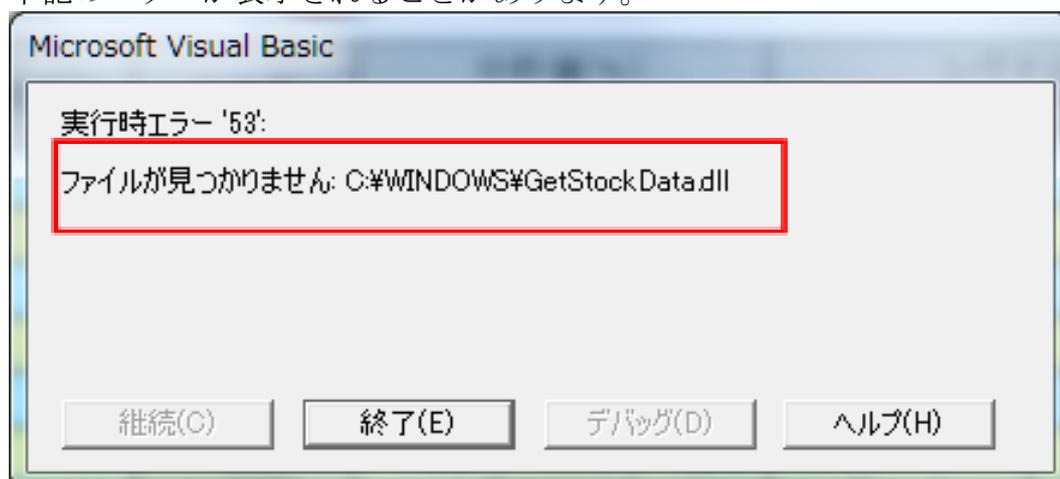


⑪ DLLがフォルダ「Windows」内に貼り付けられたことを確認し、画面を閉じる。



### (3) エラーメッセージ「ファイルが見つからない」

「初期作業」が終わり、分析ファイルを開き、初めて「分析ボタン」をクリックした時に、下記のエラーが表示されることがあります。



「ファイルが見つからない」のファイルとは、DLL「Get Stock Data.dll」のことです。DLLを正しく設定した場合、DLLの“住所”は「C:\WINDOWS\GetStockData.dll」です。分析ボタンをクリックすると、分析ファイルは上記の住所にいるはずの、DLL「Get Stock Data.dll」に指示を出します。ところが、DLLが、その住所にいない場合、指示が出せないで、「ファイル（DLL）が見つからない」のエラーメッセージを表示します。エラー内容を見ると、「Cドライブ（ローカルディスク(C:))のWindowsの中のGet Stock Data.dllが見つからない」とアピールしていることが分かります。ボタン「終了」をクリックし、分析ファイルを閉じてから、「初期作業」を参照し、DLLを正しく設定します。

#### ★重要なポイント★

「ファイルが見つからない」のエラーは、DLLの設定ミスなので、前述(2)DLL「Get Stock Data.dll」の設定、を参照しながら、指定の位置に正しく設定します。

#### ※2章の作業が終わったら<分析ソフトをドキュメントに移動>

初期作業「1章」「2章」の完了後、デスクトップの分析ソフトを、「ドキュメント」（マイドキュメント）に移動・保存します。

終わり／明地事務所